

令和3年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	8	議席 番号	2	氏名	若 林 志津子 議員	1 / 1
発言項目		要 旨				答弁者
1	コロナ収束後の教育はどう変わっていくのか	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症により小中学校では、今までと違う対応を求められた。その対応の中でも今後そのままでもいい部分と、元に戻す部分が生じていると考えられる。それらの点について伺う。</p> <p>① 教員の研修で全体研修など中止した部分と、各学校での違いはあるが、研修以外で行わないことになった業務の詳細。</p> <p>② コロナ禍で増えた業務についての詳細。</p> <p>③ コロナ収束後は研修などを元に戻すのか、戻さないのか。</p> <p>(2) 子どもの学習や学校生活の部分で、取りやめとなった部分と、新たに増えた部分についての詳細。またそれに対する子どもの反応はどうなのか。</p> <p>(3) 小学校と中学校別の不登校といじめの状況について。</p> <p>① 新型コロナウイルス感染症の発生前と発生後の件数。</p> <p>(4) 中学校の部活動について。</p> <p>① 部活動は富士宮市部活動ガイドラインに沿って運営されているが、一部の学校の運動部でクラブが作られているようである。このクラブのガイドラインはあるのか。</p> <p>② 部活動とクラブの違いは何か。</p> <p>③ 全ての教員が部活動の顧問を受け持つようになっているのか。</p> <p>④ 部活動やクラブについて、熱心なあまり指導に行き過ぎた点がある場合の学校の対処方法について伺う。</p> <p>⑤ 教員の働き方改革の観点からも、今後の部活動についてどのように考えているのか。</p>				市長 教育長 関係部長
2	少人数学級の実現の取組の具体化について	<p>文部科学省は2025年度までに35人学級を実現しているとしているが、静岡県はすでに35人学級が実現している。以下、伺う。</p> <p>(1) 30人学級の実現に向けての県の意向について、把握していることはあるか。</p> <p>(2) 富士宮市の令和3年度の学級数を30人学級に当てはめると、小学校で32クラス、中学校で21クラス増える計算になる。仮に30人学級の実現を目指すとした場合に、これだけの数を一気に増やすのは難しいことから、年次計画を立て取り組むべきと考えるがいかがか。</p>				市長 教育長 関係部長
3	生きづらさを感じている人への具体的な支援策について	<p>(1) 18歳未満で家族介護に専念しなくてはならないヤングケアラーと呼ばれる子どもたちを把握する方法と、相談体制の充実について伺う。</p> <p>(2) 女性相談についてはすでに取り組まれているが、社会が変化していく中で、生きづらさを感じている男性が増えてきている。その方々への支援策と相談体制の創設を提案するがいかがか。</p>				市長 教育長 関係部長